



# Nutrition Support Times

## NST加算について

今年度より、NST 加算が創設されました。これは、NST で患者さんをカンファレンスにかけ、かつ回診すると1 患者あたり週に 200 点いただけるというものです。ただ、どの病院でもとれるわけではなく、以下の条件があります。特定の講習(10 時間)を受けた医師がいること、また特定の講習(40 時間)を受けた看護師、管理栄養士、薬剤師が在籍し、カンファレンス、回診に出席すること。これらの職種のうち、一人は専従、ほかは専任である必要があります。

当院には TNT もしくは NST 医師セミナーをうけた医師は相当数 在籍し、また NST 専門療法士をもっているナースは二人、管理栄養士は 3 人、そして薬剤師も 2 人おられます。また、今回の条件からは漏れましたが、臨床検査技師も 2 人専門療法士資格を持っておりま す。専門療法士をもっていると、 今回の申請条件は、確実に満た します。

これほどの NST 専門療法士を 要する病院は、近隣では一つだけ で、加算を申請できる病院はわず かです。当 NST スタッフの高いモチベーションと NST 専門療法士に 合格したその努力と能力を 私は 誇りに思っています。なお、当院の NST 専門療法士は各職種合わせ て9名いらっしゃいます。

この、低い点数とはいえ国が NST 加算を設けたのもちょうど良 い機会です。NST 専門療法士をも っていない皆さん、我々と一緒に 勉強し、セミナーに出て、JSPEN 本大会(次回は名古屋です)にも出 席して、NST 専門療法士を目指し ましょう。詳しい受験資格は以下 の通りです。

当院は NST 専門療法士の教育 認定施設ですので、当院に勤めて おられる方々は当院で行うスタッフ 勉強会に参加していただき、また NST カンファレンスにも規定の時 間参加していただければ、他院に 見学をしに行く必要はありません。

当然費用もかかりません。(他 院に見学しに行つて受験資格を 得るにはそれなりの金額がかか ります)

また、今年の 6 月の最後の週 に、NST 専門療法士受験のため に、1 週間 他院より 実習生 が来られます。当院は NST 教 育認定施設となっております。 実際の受け入れは今回が初めて ですので、なにかと皆さんに ご迷惑をおかけすることもある かと思いますが、何卒よろしくお 願ひします。

しかし、今後ともに院内の栄 養療法を発展させていくため に、NCM 講演会、スタッフ勉強 会を充実させていこうと考えて います。また、プロトコルを作 成し、経腸栄養の選び方、進め 方、下痢の際の対応なども標準 化していこうと考えています。 今年度もよろしくお願ひいたし ます。



## 嚥下障害への取り組み

3 月 25 日、誤嚥性肺炎についてというテーマで呼吸器内科の立川先生にご講演いただきました。司会はチェアマンの東別府先生が多忙のため、アシスタントディレクターである外科の小林先生が務めてくださいました。今回の講演会は患者さんを中心と考えるチーム医療、特に NST にとっても有益なものであったと思います。立川先生が呼吸器内科として率直なご意見を提示してくださり、質疑応答も大いに盛り上がり、外科の立場からの小林先生も含め、NST 嚥下チームとの考えの違いを公の場で話もでき、とても有意義でありました。みんなが患者さんに最適な治療を考える結果起こることであり、今後話し合つて検討をしていけば患者さんにとってよりよい形で貢献できるのではないかと考えます。因みに、嚥

### NCM 講演会予定(第4木曜日)

月日	内容	担当
5/27	超基本	東別府先生
6/24	未定	未定
7/22	未定	未定

NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 PM1:00~8北(861)

NSTカンファレンスルーム

下障害患者の栄養状態はよくないこと、それらの根底には栄養投与が十分でないことは知られていることです。嚥下訓練をしていく上でも栄養は必要不可欠なものであります。嚥下と栄養についても理解を深め、患者さんの予後改善に尽くしていきたいものです。新たなニューースとして、転勤された歯科口腔外科西田先生の代わりに、NST 嚥下チームの回診に呼吸器内科の先生方が参加して下さることになりました。新しいメンバーでさらにパワーアップしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。